

近未来ドキュメント

2036年 福岡市は世界で一番「やさしさに包まれたまち」になる！！

保健福祉局職員提言検討チーム

福岡市の将来像を保健福祉局職員から提言するに当たり、今回は、「福岡市が25年後にこんなまちになっているといいな」というイメージをまとめ、提言とすることとしました。

よりイメージしやすいよう、ある人物を中心に物語として25年後の福岡市をお見せしようと思います。

《提言にあたって》

私たち保健福祉局職員提言検討チームは提言をショートストーリーに仕上げました。「ひとりの高齢者の日常生活」を縦糸に「25年後の福岡市の未来像」を横糸にして、孤独だったこの高齢者が他者と関わりを持つうちに生きがいを感じていく姿を明るく描いています。

検討するのは25年後という遠いような近いような未来。視点を現実に近づけると夢のないものに、未来に置きすぎると実現性のないものになりかねません。その点に注意しながら、私たちは、「超高齢社会という厳しい現実と福岡市の未来像」という材料を「自由な発想」という調理器具で下ごしらえし、「ユーモア」という調味料を加えてこの物語を作り上げました。ぜひ多くの皆様に楽しんで頂くことを祈っております。

《主な登場人物》

(1) 唐人町 進

5年前に妻を亡くしたのをきっかけに、福岡市に引っ越してきた75歳の男性。この物語の語り手である。

(2) よかろうもん 友造市長

福岡市長。口癖は「よかろうもん」。2028年、ふくおか恋愛都市宣言を行う。

(3) レイア・オウハシ

タイ出身の留学生。アルバイトをしながら、勉強している。

(4) 茶山 香保子

唐人町進の小学校の同級生。

(5) 高取 恵子

フードコーディネーターをしている息子が一人いるお母さん。

(6) 高取 福太

高取恵子の息子。現在高校2年生。パソコンとサッカーが得意。

(7)中洲 翔太

ゲーム会社に勤務している働き盛りのイクメン

(8)下山門 てりは

陶芸教室の講師。作品は、使いやすくプレゼントに最適である。

《序章》

私は75歳。

生きがいと幸せを感じる毎日を過ごしている。

これも思い切って福岡市に引っ越したからと思っている…。

65歳で福福商事を退職した。

転勤族だったので全国各地を回りまわったが、最後の勤務地である大阪で、同じ年の妻と二人で生活していた。

退職と同時に会社関係の友人と顔を合わせる機会がめっきり減った。

とはいえ、妻と旅行したり、インターネットで旅行の感想をブログにアップしたりと、のんびりとそれなりに楽しく過ごしていた。

ところが、70歳の時に妻が心筋梗塞で急死したことから私の生活は一変した。

妻に頼りきりで家事も全くしていなかった私。

妻とだけ仲良くして近所づきあいもなかったのが急に孤独になってしまった。

子どもは二人いるが、長男はシンガポール在住、長女は春日市に在住していてめったに会う機会がない。

だんだん生きる気力がなくなり、ブログも更新しなくなった。

「このまま大阪で過ごしていても寂しいだけだ。」

いつしか私は少年時代を過ごした福岡市に帰ることを考えていた。福岡市なら長女が近くに住んでいるし、幼なじみに会えるかも知れない…。

2031年、日本は既に超高齢社会に突入し、沈滞したムードが日本全体に漂っていた…。

豆知識

20年後の日本は超高齢社会の到来で危機的な状況に!?

2009年厚生労働省は、実質経済成長率が今後長期にわたってマイナス1%前後で推移すれば、公的年金は積立金が枯渇して制度が破綻するという試算結果をまとめた。

試算では、物価上昇率、名目賃金上昇率、積立金の名目運用利回りが今後それぞれ過去10年間の実績値の平均（マイナス0.2%、マイナス0.7%、1.5%）のまま推移し、実質経済成長率がマイナス1.2%の状態が続くと想定。このケースでは積立金が2031年度に底をつき、年金給付の財源が足りなくなることがわかった。

（出典：平成21年 社会保障審議会年金部会資料）

《転機》

約 25 年ぶりに福岡市に戻った私は小さなアパートを借りてひとり暮らしを始めた。

福岡市は、引っ越しが多かった私が小学生時代を過ごし、子ども達が中学・高校時代を過ごした思い出のまちだ。

会社員時代には出張で何度も訪れた福岡市だが、いざ住んでみるとまちの雰囲気が昔とはどこか違うことに気づいた。

まちを歩いていると、老いも若きも生き生きとしているのだ。それに「女性が美しい！」。昔から美人が多いまちとして知られていた福岡だが、今は特にシニア¹の女性の内面からにじみ出る美しさといった感じだ。

豆知識

福岡市の女性は美しい！？

(財)福岡アジア都市研究所によると、福岡市は人口 10 万人当たりの美容室数が 269.6 件で、横浜市の 164.4 件、神戸市の 205.5 件と比べても圧倒的に数が多い。また、1 世帯当たり年間の美しく暮らすための支出（コスメ、洋服、靴、インナー、花の購入費）が、全国平均を大きく上回っている。

(出典：財団法人福岡アジア都市研究所「都市情報誌 f U+ (エフ・ユープラス)」第 6 号)

《ふくおか恋愛都市宣言》

どうしてかなと思っていたが、あるとき私のアパートを訪ねた娘が色々と教えてくれた。

娘の話によるとこうだ。

2028 年、福岡市のよかろうもん友造市長は、高齢者社会福祉、年金、医療等のサービス低下で、社会全体の活力が低下した状況を打破するため、「ふくおか恋愛都市宣言（シニアが恋してよかろうもん）」を行った。

キャッチフレーズは「アクティブシニアに“**LOVE 注入**”，恋の力でアンチエイジング!!」。よかろうもん市長は「明るか恋ばするシニアが増えたらくさ、まちもちかっばい元気になるーもん！」と、あらゆるメディア媒体を通して熱く訴えたという。

財政難で福祉サービスの向上が難しい以上、高齢者にはできるだけ長く元気に生活してもらい必要がある。このための経費のかからない打ち手として「恋愛」の力を利用しようと考えたのだ。

¹ ここでは 65 歳以上の高齢者と定義します。

実はこの宣言はすんなりと実現しなかった。そもそも高齢者が恋愛なんてするのかとの疑問の声も多かったからだ。しかし、「異性との間の愛情や性的関係を望む高齢者は男性の94%、女性の70%にのぼる」といった調査結果を根拠に市長が押し切った。

豆知識

「高齢者に恋愛や性に無縁」は神話！？

異性との間の愛情や性的関係を望む高齢者は男性の94%、女性の70%にのぼる。

(出典：平成9年版厚生白書)

福岡市によるとシニアの恋愛には次の効能があるとされている。

女性は恋をするとホルモンが分泌され綺麗になるというが、シニアも恋をすると生活に張りが出て健康になる。また、異性を意識しておしゃれをしたり、新しい話題に関心を持ったりするなど異性に好感を持たれようと考えerことで、脳が活性化する。つまり、肉体的にも精神的にも若さを維持しようという意思が働くことで、医療・介護に係る費用の低減が期待できる。

さらに、経済効果もある。

一般的に歳を取ってくるとだんだんお金を使わなくなるものだ。しかし、恋をすると違う。異性の気を引くために、新しい服やプレゼントを買う。デートで食事をしたり、観劇、旅行に出かけたりするなど、消費意欲が高まる。

加えて孤独死対策にもつながるという。ひとり暮らしだったシニアに人的つながりができ、「孤独死」のセーフティーネットになるからだ。

福岡市の未来像① 《ふくおか恋愛都市宣言(シニアが恋してよかろうもん)》

●よかろうもん市長のねらい

- ① 恋をすると生活に張りが出て健康に、また異性に好感を持たれようと考えerことで、脳が活性化 →医療・介護に係る費用の低減
- ② 異性の気を引くために、新しい服やプレゼントを買うなど、消費意欲の高まり →経済効果
- ③ デートや電話・ネットでの交流 →「孤独死」のセーフティーネット

「ふくおか恋愛都市宣言」から3年。これをきっかけに打ち出された様々な施策が民間を巻き込み、軌道に乗り始めた。そしてこのことに気を良くしたよかろうもん市長は、さらに2年後「やさしさに包まれたまちふくおか宣言（みんな仲良しがよかろうもん）」を行った。

キャッチフレーズは「すべての人に“LOVE 注入”，愛の力で法被い（ハッピー）シティ!!」ちなみに、この「法被い」は博多山笠の水法被（みずはっぴ）に引っかけた、市長のオヤジギャグである。シニアの恋愛を対象とした前の宣言から愛の概念を大きく広げたこの宣言は、すべての世代、性、人種の区別無く、やさしさと思いやりの気持ちを持って交流しようと訴えるものであった。

《まちの変化》

【アクティブシニアのまち】

まちも大きく変化していた。

私が若い頃、親不孝通り（正式名称は、「天神よろず町通り」）と呼ばれていた地区は若者向けのまちだったが、今はアクティブなシニアが楽しめるまちへと変貌していた。シニア向けのファッション店や趣味の店が建ち並んでいる。人気のファッション店のひとつに、ちょいワルシニアの店がある。昔「ちょいワルおやじ²」だった人たちもオシャレに歳を重ねており、この店はそんな人たちを対象とした洋服やアクセサリを売っている。その横には「ハーレーダビッドソン」の店がある。革ジャン、サングラスに身を固めたシニアがアメリカンスタイルのバイクにまたがって談笑中だ。近くの空き地はフリーマーケットスペースとなっており、シニア達が不要になった古着や雑貨を売っていた。

表の映画館では、昔流行った「スターウォーズ」や「燃えよドラゴン」といった映画が3Dにリメイクされ上映されていた。

メイン通りから横道に入ると音楽関係の店が立ち並んでいる。

「シニアのための音楽教室」や「シニアバンドコンテスト」をやっているライブハウス。プレミアが付いた楽器やLPレコード時代のジャケットを復刻したメディアを売っている音楽店。私たちやその前の団塊世代は、ビートルズやレッドツェッペリン、チャーリップやユーミン、サザンオールスターズといったロックやフォークの洗礼を受けた世代だ。ただ音楽を聞くだけでなく、自ら歌い演奏することも楽しみとしてきた世代でもある。長浜公園には渋谷野外公会堂のようなステージができており、シニアバンドが自

² 雑誌『LEON』が提唱した、不良がかった中年男性のファッション。あるいは、それを範とする中年男性のこと（出典：ウィキペディア）

由に演奏できるようになっていた。客席ではファンだろうか、シニア達が黄色い声をあげている。

驚いたのが、音楽店が並ぶ通りの正面にあの伝説のディスコ「マリアクラブ³」が復活していたことだ。完全バリアフリーが施されたこの店は、段差を無くし、お立ち台には転倒防止のための手すりや疲労時に利用できるイスを設置している。往年のディスコ好きが安心して楽しめる施設だ。

私たちの世代は、物心ついたときは高度経済成長期であり、成人してからはバブルの果実を味わうなど、大量消費生活に身を置いてきた。戦争で我慢を強いられた親の世代とは違って、年を取ったとはいえ、好きなことや興味のあることにお金と時間を使うことに抵抗が少ない。

豆知識

現在の 50 代は将来の教養娯楽支出に積極的

現在の 50 代に、各費目の消費水準が 60 代になったときにどう変わると思うかと尋ねたところ、食費や服飾費についてはほとんどの人が「変わらない」か「多少減る」と答えたのに対し、旅行、趣味・習い事、健康・スポーツについては4割前後が「大幅に増える」か「多少増える」と答え、「大幅に減る」、「多少減る」とした2割を大きく上回っている。このように、現在の 50 代は、今後の生活において教養・娯乐的な支出を積極的に行っていく意欲が高い。

(出典：平成 18 年版国民生活白書)

長浜公園からあいれふまでの道のりはウエルネスストリート。シニア専用トレーニングプログラムが自慢のスポーツジム、マッサージ、健康食品販売店、リハビリ施設などが所狭しと並ぶ。そしていつまでも若く美しくありたいと願う女性のためのエステや美容院。なかには「30 歳若返り可能！」などと書かれた看板があるなど、効果が疑問の店も見受けられるが、そこは利用者の判断次第というところだろう。このエリアでは、シニア向けの健康相談が充実しており、簡単な健康チェックや栄養指導も受けられる。誰もが利用できる研修室もあるので趣味等の会合で利用するシニアも多い。

よかろうもん市長は、健康づくりの実践者として、通勤時に車を使わず、毎日 40 分かけて徒歩通勤しているとのことだ。また週に 1 回は旧舞鶴小学校跡地に作られたジョギングコースを走っている。市長は 5 年前に軽度の脳梗塞となったことがあり、治療と熱心なリハビリを経て劇的に機能回復した経歴を持つ。今では、ホノルルマラソンにも出場するくらいに元気らしい。

市職員をはじめ市民は、市長を見習って「一駅前でおりて歩く」のが当たり前になっ

³ 1986 年から 1997 年まで舞鶴に存在していたディスコ (出典：ウィキペディア)

ている。

このように市長が自ら健康づくりの啓発をしているのは膨らみすぎた医療費対策のためだ。25年前と比較すると、現在の医療費は約3倍の85～92兆円。国民皆保険制度を維持するためには「新たな財源を確保する」か「医療に関する支出を抑制する」しかない。生産年齢人口割合の低下で新たな財源確保が期待できないため、「予防」に力を入れ、「健康管理は自分自身で」という意識の浸透が必要になっているのだ。

豆知識

25年後医療費は3倍に

- 日本では、2010年約35兆円であった医療費が2035年には85～92兆円になると予測されている

(参考：厚生労働省 平成21年度医療費の動向，経済産業省産業構造審議会基本政策部会2011年5月18日資料)。

生産年齢人口割合は7.2ポイント低下

- 2035年，福岡市の人口は1,449,774人（男性 681,416人／女性 768,357人）。

	2010年	2035年	増減
年少人口割合	13.0%	9.4%	3.6%減
生産年齢人口割合	69.3%	62.1%	7.2%減
老年人口割合	17.7%	28.5%	10.8%増
75歳以上人口割合	8.4%	16.3%	7.9%増

(参考：国立社会保障・人口問題研究所 ホームページ，『日本の市区町村別将来推計人口』（平成20年12月推計）について，4. 市区町村別男女5歳階級別データ)

面白いのが，恋愛都市宣言したまちらしく，シニアの出会いの場をコーディネートする店が立ち並んでいることだ。店ごとに色々な工夫が施されており，ある店では昔懐かしい恋愛テレビ番組をパクった企画で好評を得ていた。「フィーリングカップル5対5⁴」や「ねるとん⁵」といったヤツだ。またある店では，男女シニアがバスに乗って各地を巡るバスツアーを受け付けている。これは「あいのり⁶」風だ。中には知的障がい者向けの相談所もある。最近では知的障がい者同士で結婚し，ヘルパーさんたちの支援を受けなが

⁴ 1973年から1985年まで放映された公開恋愛バラエティ番組（出典：ウィキペディア）

⁵ 1987年から1994年まで放送されていた集団お見合い企画番組（出典：ウィキペディア）

⁶ 1999年から2009年まで放送されていた，男女がバスで海外を旅する恋愛バラエティ番組。（出典：ウィキペディア）

ら自活するカップルも増えている。

人気店は予約が数ヶ月待ちという。なんとといってもここは福岡，恋愛のまち。飲食店等の各種割引，優先予約などカップルでいた方が何かとお得なのだ。

親不孝通りには，シニア向けの飲食店が多く立ち並び，シニアカップルが楽しげに食事をしている。おしゃれで美人，体型にも敏感な福岡シニアレディー向けに，ヘルシーで低カロリー，低塩分でありながら美味しいお店がとても繁盛していた。

福岡市の未来像② 《アクティブシニアのまち》

- かつて親不孝通りと呼ばれていた地区がアクティブシニアのまちに変貌
- 教養・娯楽への支出に積極的なシニアが楽しめる
- シニア向けのファッション店や趣味の店，飲食店等が建ち並ぶ
- 伝説のディスコ「マリアクラブ」が復活
- 長浜公園には野外ステージができ，音楽好きのシニアが自由に演奏
- 長浜公園からあいれふまではウエルネスストリート，健康関連施設が並ぶ
- 少子化で廃校となった小学校の跡地にはジョギングコースを整備

娘は，私に「お父さん，バスツアーにでも行ってみたら？」と言ってきた。しかし今更恋愛なんて照れくさい私は，「シニアアプリで仕事でも探してみるよ。」と答えた。

【IT先進都市 ～シニアアプリ～】

福岡市では，「シニアアプリ」と呼ばれる65歳以上向けのアプリ⁷がスマートフォンやインターネットで使用できる。「シニアアプリ」は，「健康」「余暇生活」「コミュニケーション」「年金」「福祉」「介護」「仕事」「地域コミュニティ」「買い物」「緊急連絡」といったコーナーに分けられている。画面にタッチすれば様々な情報の入手や双方向の情報交換が情報端末を通じて簡単にできる。シニアに関する様々な情報が集約されているので，あちこち探し回る必要がなく便利だ。我々は，若い頃からインターネットや携帯電話を使用していた世代だから，こういったものに抵抗はない。

たとえば「余暇生活」のコーナーでは，学習，文化活動，社会活動，スポーツ，遊び，旅行など約1000のイベントが登録されており，人気順で並んでいる。人気のないイベントは次第に下の方に追いやられ消えていく。しかも，このアプリは単なる情報元にとど

⁷ スマートフォンにインストールして使用するアプリケーションのこと。パソコンにソフトウェアをインストールする感覚で，スマートフォンの機能を拡張・カスタマイズすることができる。（出典：（株）NTTドコモホームページ）

まっていない。イベントに参加することを通じて、新しい仲間や異性と出会う仕組みも合わせて構築されているのだ。

昨日までの会社人間にいきなり地域に飛び込めといっても難しい。しかし「シニアアプリ」で知りあい、メールの交換やブログの公開を通じて交流を深めた後、直接会うという仕組みは強制的でなく自由に気の合った人たちとセカンドライフを楽しみたいというシニアのニーズにマッチしている。

福岡市の未来像③ 《シニアアプリ》

- 福岡市が開発した 65 歳以上向けのアプリ
- スマートフォンの画面にタッチすれば情報の入手や双方向の情報交換が可能
- 10 大特長
 - ①最新情報を 24 時間 365 日更新
 - ②公的サービスも民間サービスも、シニアに必要な情報はこれひとつに集約
あれこれ探し回る必要なし
 - ③利用頻度の高い人気のサービスが上部に配置され、手軽にアクセス
 - ④よく使うサービスやアプリケーションはホームに配置するなど、自分好みにカスタマイズ
 - ⑤気になる単語で検索すれば必要な情報にすぐアクセス
 - ⑥利用者の基本情報を登録すれば必要なサービスを厳選してお知らせ
 - ⑦趣味や関心のあることをキーワードに仲間探し。メールの交換やブログの公開
で交流を深めた後、直接会うことも…
 - ⑧うっかり物忘れ対策には「お知らせフォン」。個人個人にマッチした連絡が可能
 - ⑨元気な時は「F i n e」、緊急時は「H e l p」のアイコンをタッチ
予め登録していた家族・知人に即連絡
 - ⑩サクサク動く快適な操作感を実現

また、福岡市は「シニアアプリ」だけではなく、全国に先駆けて様々な I T 化を強力に進めていた。住民基本情報カードを全市民に交付し、カードを各自が家庭のパソコンに差し込みパスワードを入力することで様々な行政サービスが受けられるように環境を整えていた。

市政だよりは W E B 発行され、選挙の投票、住民票請求、国民健康保険の手続きなどはオンラインで行うことができる。よかドック（特定健診）やガン検診などの受診結果もパソコンで経年結果表が確認でき、個人個人にあった情報をタイムリーに e - m a i l でお知らせするようになっていた。

福岡市の未来像④《IT先進都市》

- 福岡市は全国に先駆けて様々なIT化を強力に推進
- 市政だよりはWEB発行、選挙の投票、住民票請求、国民健康保険の手続きなどはオンライン
- よかドック（特定健診）やガン検診などの受診結果もパソコンで経年結果を確認
- 個人個人にあった情報をタイムリーにe-mailでお知らせ

【就労・国際交流】

会社員時代に海外勤務を経験した私は得意の英語を生かした仕事ができないかと常々思っていた。シニアアプリで検索したところ、日本語を外国人に教える教室の講師募集を見つけたので早速応募すると運良く採用となった。

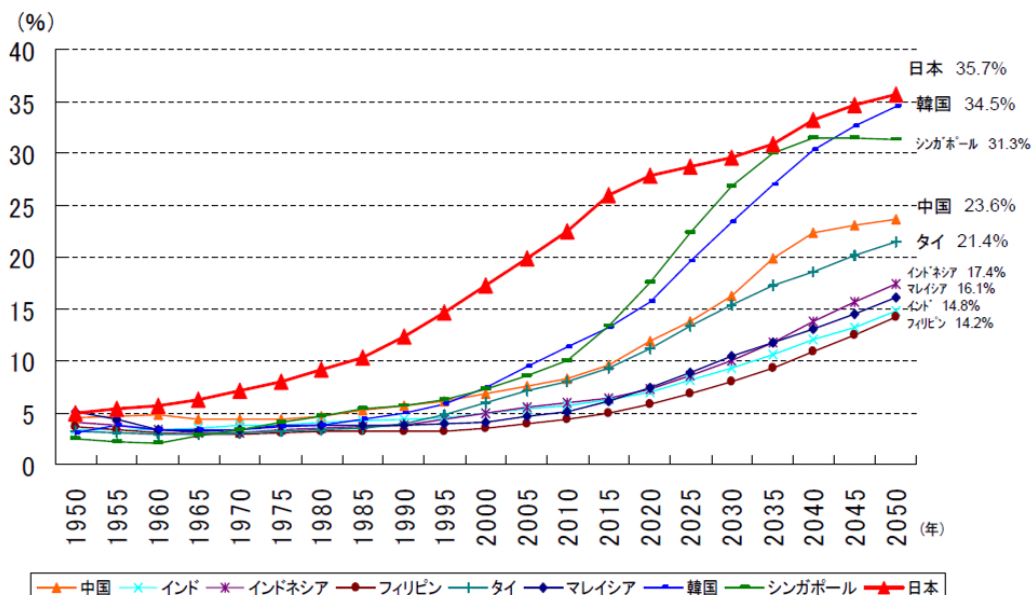
この日本語学校はNPOが運営していて、外国人に日本語を教えたり、福岡のまちにスムーズに馴染むよう文化交流を行ったりしている。

日本語教室に通っているレイア・オウハシさんは、タイ出身。母国も高齢化が進み、日本のシニア施策を学ぶため来日したそうだ。彼女は、ベイサイドにあるアジア街のタイ料理屋でバイトをしている。

豆知識

東アジア諸国の高齢化は日本と同じレベルに

東アジアの高齢化の推移予測



資料：特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター

「高齢社会に対応する社会構造の変革に関する予備調査報告書～少子高齢化時代の都市戦略～」2011年3月

(注) 国土交通省資料より作成されたもの

最初は各地ばらばらに住んでいたアジアの人々が、次第にベイサイドプレイス周辺に集まりはじめ、今では一大アジア街を形成していた。アジア街では、アジア各地の食事、ショッピング、芸能文化を楽しめる。アジアのスターに国境はないのか、韓流スターに代表されるアジアのスター達が気軽にやってきてコンサートやイベントを行う。そのため専用のホールやスターの直輸入グッズを扱うショップもある。アジア街はアジアのスターに会える街として、国内だけでなく海外からの観光客も集まる人気スポットなのだ。

福岡市の未来像⑤《アジア街の形成》

- 福岡市は全国に先駆けてアジア諸国の人々を積極的に受け入れ
- アジア諸国の人々がベイサイドプレイス周辺に一大アジア街を形成
- アジア各地の食事・ショッピング等が楽しめたり、アジアのスター達に会えたりする人気スポット

【生きがいカフェ】

そのレイアさんから FACEBOOK（フェイスブック）⁸を勧められ、早速私は試してみることにした。

FACEBOOK に登録すると、小学校の同窓生つながりで初恋の人と同姓同名の方を発見した。アプローチしてみると、本当に私の初恋の人、茶山香保子さんでびっくりした。なんと茶山さんは私の住んでいる場所から歩いて 20 分の隣の小学校区にある、コミュニティシェアハウスに住んでいた。3年前にご主人を亡くし今は独り身とのことだ。介護ヘルパーを退職後、「生きがいカフェ」で子ども一時預かり所のお手伝いをしているらしい。

福岡市の未来像⑥《コミュニティシェアハウス》

- 老朽化した市営住宅を改築して作った新感覚の居住施設
- 独居の高齢者や子育て中の方など様々な世代が入居
- 敷地内には共同菜園、空き部屋には野菜が栽培できるバイオアグリの施設を整備
- 共同の居間やプレイルームを設けることで、住民同士が自然と交流する居住環境を実現
- 菜園で収穫した野菜を使った食事会を実施
- 住民同士の結びつきも強く、お互い助け合いながら生活

⁸ ソーシャルネットワークサービスの一種で、インターネット上で社会的なつながりを作っていくサービス

「生きがいカフェ」が気になった私は、早速、シニアアプリで検索してみた。生きがいカフェはアパートの近くの小学校でも開催されており、空き教室を利用して様々な教室が平日土日を問わず開催されていることを知った。ここでは地域の様々な人々が自分のスキルを生かした教室を開催したり、ボランティア活動の場となっていたり、子どもと高齢者が触れ合う場となっていたりと、小学校を核とした地域の交流拠点となっている。そのほかにも子どもに勉強を教えてくれるサークルがあったり、近くの病院の先生が介護予防の講演を行ったりと実に様々な活動が行われている。

私は日本語教室の帰り道、早速小学校に行ってみた。

活動内容を見てみると、糖尿病料理教室が行われていることが分かった。高血圧や糖尿病で通院と食事管理が欠かせない私にとってピッタリの教室だ。私は早速その場で参加を申し込んだ。

料理教室の先生、高取恵子さんは50歳の一人親家庭のお母さん、高校2年生の福太さんを一人で育てている。明るく元気な魅力的な女性で、普段はフリーのフードコーディネーターだ。実は、福太さんは高校に入ってから環境が変わったこともあり、引きこもりがちになっていた。心配した高取さんは、知人の薦めで、パソコンの得意な福太さんを「生きがいカフェ」のパソコン教室の助手として、無理矢理連れ出すようにした。

最初は外出を渋っていた福太さんも、「生きがいカフェ」に参加している様々な年代の、多様なバックグラウンドを持つ人たちと交わる中で、カフェ内での知り合いも増え、自分の居場所を見つけたようで、最近は自ら進んで、得意なサッカーを教えたり、カフェ内の雑用をボランティアで引き受けたりするようになっている。たまにパソコン教室の助手と一緒にする中洲翔太さんは、ゲーム会社に勤めながら育児をしているイクメン⁹だが、子どもを一時預けてサッカーも楽しんでいる。福太さんは翔太さんを兄のように慕っている。

私も高取恵子さんを通じて福太さんと知り合ったが、福太さんに対し「何かできないだろうか？」と思っていた。少しずつうち解けていくうちに、身の上話をするようになっていたので、ある時私は、中洲さんも交えて、社会人としてどんなことをしてきたかを話す機会を持ってみた。福太さんには父親がおらず、母親の恵子さんの姿だけを見て育ってきた。そんなこともあって、自分がこれからどのように社会に出て行くのか漠然とした不安を感じていたのかもしれない。私たちと話をするなかで、福太さんは自分が社会に出て行くイメージを持ってくれるようになったようだ。

今年は、アビスパ福岡とアंकラスが共に優勝したので、記念イベントとしてアビス

⁹男性の子育て参加や育児休業取得の促進等を目的として厚生労働省が進めている「イクメンプロジェクト」で提唱された、子育てを楽しむ、自分自身も成長する男のこと

パ・アンクラス混成チームによるフットサル大会が開催され、生きがいカフェのサッカー教室関係者も参加した。サッカー人気がすごいため、福太さんと翔太さんの参加する生きがいカフェのサッカー教室とブラインドサッカー教室も大盛況だ。

個性豊かな講師陣も「生きがいカフェ」の魅力の一つだ。障がいのあるアーティストと一緒に創作活動を行う絵画教室や陶芸教室は、毎回希望者が多く定員オーバーする人気ぶりで、「自由な発想を刺激され心豊かな時間を過ごせる」と好評を博している。生きがいカフェの一角で作品の一部が販売されているのだが、私のお気に入りには、陶芸教室講師の下山門てりはさんが作るマグカップである。使いやすく、友人へのプレゼントに最適だ。

福岡市の未来像⑦《生きがいカフェ》

- 使用していない空き教室などを、文化活動や学習の場として地域が運営
- 講師は定年退職したシニアが中心だが、得意なことがあれば誰でも講師になれる。
- 様々な年代の、多様なバックグラウンドを持つ人たちが交流

福岡市の未来像⑧《「障がい」の垣根のない豊かな交流のまち》

- かつては異性との交際や結婚を家族に反対されていた知的障がい者のカップルが当たり前に入られる社会
- 障がい特性に配慮した雇用の場が拡大、企業への就職者数は一貫して増加。
- 障がいのある人もない人も、一緒に働いたり、スポーツや芸術活動をともに楽しむ機会が日常に溢れているうちに。

生きがいカフェでは“地域キッザニア（愛称：チイキッザ）”もやっていた。チイキッザは「キッザニア¹⁰」の地域版だ。

地域には様々な職業を経験した人たちがいる。この財産を生かさない手はない。この

10子どもたちが自分の好きな職業を経験できる施設。消防士、パイロット、シェフ、医師、建築士…、職業プログラムは90種類以上。出展企業の研修を受けたスタッフが子どもたちをサポートし、子どもが存分にプロになりきることができる。我が国では2006年にオープン。メキシコ生まれのこの施設は「子どもの成長」に役立つとして人気がある。

人たちが地域の子どもたちに仕事の楽しさを体験させるのだ。それは世代間の交流にも繋がる。高取さんも、管理栄養士の資格を生かしチイキッザのスタッフとして働いていた。

福岡市の未来像⑨《チイキッザ》

- 20XX年、子どもたちが好きな職業を経験できる「キッザニア」が福岡市に出店
- 地域キッザニア（チイキッザ）はキッザニアの地域版として福岡市で試行
- 運営は生きがいカフェが行い、キッザニアがノウハウをアドバイス
- 地域に住んでいる様々な職業人がスタッフとして協力
- チイキッザを気に入った子ども達は本物のキッザニアへ

「生きがいカフェ」の講師は定年退職したシニアが中心ではあるが、誰でも得意なことがあるれば講師になれる。みな、今までの経験や特技を生かして生き活きと働いていた。そして、もちろん生徒にもなれる。私も生きがいカフェで得意の英語を教えることができるか…と考え始めていた。

【まち歩き～茶山香保子さんとデート】

生きがいカフェで英語教室を開催する準備で小学校に行ったとき、ばったり茶山香保子さんに会った。雑談をしているとお互い「印流（インド）ドラマ」ファンということが判明。香保子さんによると、今週末、「夏のサルサ」に出演したスターのトークライブがアジア街であるという。「行ってみたいけどひとりじゃ…」とためらっている香保子さんに「じゃあ、一緒に行こう」と思わず言ってしまった。

アジア街ははじめてだったが、すごい熱気だった。ベトナム料理、韓国料理と色々な飲食店が立ち並ぶ。「オイシイリョウリアルヨ」と勧める客引きを横目で眺めながら、私たちはカレー好きの香保子さんのリクエストで、カレー通りにあるタイカレーの店に入った。本場の美味しさを味わった上に、ペアで行くと食事代はカップル割引ということで10%引きだ。

「今日は僕のおごりだよ」とふたり分を支払ったのは良かったが、レシートのバーコードを読み込んだとたん、私のスマートフォンのハザードが鳴り出した。「カロリーオーバー注意！」のお知らせだ。高血圧と糖尿病の持病を持つ私にとって、今日のカレーのカロリーは高すぎたようだ。

福岡市の未来像⑩《健康づくりのまち》

- 福岡市内の外出・中食産業は全てのメニューにカロリー表示
- 店舗での精算の際、携帯端末でレシートのバーコードを読み取ると、総摂取カロリーや栄養素などの詳細が表示
- 自分のデータをあらかじめ登録しておけば、総カロリー・栄養素等の過不足がある場合にハザード・ランプで問題点を通知
- 携帯端末を持ち歩けば、一日の総運動量が自動計算。それらを継続的にネット上で管理しながら、定期的に専門家からアドバイス
- 福岡の名物・屋台で出されるメニューは、一昔前はカロリー、コレステロールが高い、栄養バランスが悪いなど「不健康」なイメージがあったが、今ではその屋台でさえも「健康メニュー」を目玉に

食事後はお楽しみのトークライブへ。ステージでは、ドラマの甘く切ない名場面が映し出されている。しかし、いつの間にか私の視線はステージから離れ、香保子さんの横顔に注がれていくのだった。

「どうしたの?」「いや、えっと…、この後どこに行きたい?」

「散歩に行かない?」と香保子さん。そこでアイランドシティに行くことになった。

アイランドシティはアクティブシニアが集まり、福岡市のスポーツ・レクリエーションによる健康づくり拠点となっていた。

外周は歩行者専用道と自転車専用道が整備され、大濠公園のようにウォーキング愛好家が集まる場所となり、週末ごとに様々な大会が開催されていた。

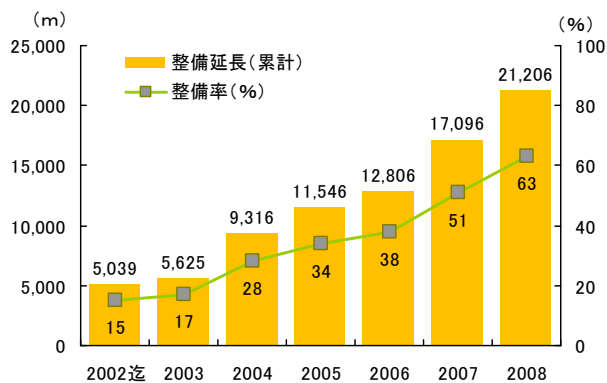
シニアにやさしいこのまちは、至る所にベンチがあり、疲れたら休憩できる。アスファルトには膝に優しい特別素材が使われており非常に歩きやすい。

福岡市の未来像⑪《バリアフリーのまち》

- 市内を散歩してみると、所々にちょっと休憩できるベンチが設置
- ベンチは、立ち上がるときに負担とならないよう、少し高めに設定されていたり、何かと配慮されている。
- 道路は、歩車分離が進み、自転車は自転車専用道を通っているので、ぶつかりそうになることもない。マナーが悪いと言われ、いつぶつかるか冷や冷やしていた時代はもう過去のこと。
- アスファルトには膝に優しい特別素材が使われており非常に歩きやすい。
- レンタサイクルも盛んで、風を感じながらサイクリングを楽しむカップルも多い。

豆知識

福岡市の道路バリアフリー化率の推移



資料: 福岡市保健福祉局「バリアフリー整備状況等現状評価業務委託報告書」平成22年
(注)重点整備地区における特定経路整備(バリアフリー化)率

私は香保子さんとベンチに座り、博多湾に沈みゆく夕日を眺めていた。

あのまま引きこもっていたらどうなっていたらろう…。福岡に引っ越してきて、たくさんの人と出会えて本当に良かった。自分の居場所が見つかった。

福岡には人をワクワクさせ、やさしい気持ちにさせる何かがある。

そんなまちに住んでいる私はとても幸せだ。

《おわりに》

提言チームの最初のミーティングで、私たちは、25年後の福岡市の未来予想図をブレインストーミング的に出し合いました。そして、そこで出たキーワードを集約すると、25年後は「多様な人たちがイキイキ交じり合う元気なまち福岡」という姿になりました。

そこから提言を発展させるべくミーティングを重ねましたが、なかなか方向性が定まりません。少し行き詰まり感があったとき、あるメンバーが、ひとりの人間の生活を通して25年後の未来予想図を描いたらと発言。そのひとことをきっかけにこのストーリーができあがりました。

ストーリーができあがってくるにつれ、「25年後がこんな感じだったら老後も楽しいよね」といった意見がメンバーから出るようになりました。メンバー以外の方に読んでいただいても、少しでも希望が与えられるような未来予想図になっていたらうれしく思います。

そして私たちは、福岡市が年齢、性別、国籍、人種などに関わらず、相互に興味関心を持ちながら、支え、支えられる思いやりを持ったまち、世界で一番「やさしさに包まれたまち」となるよう、これからも日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。

新ビジョン保健福祉局職員提言検討チームについて

保健福祉局職員提言検討チーム

所 属	氏 名
総務部国民健康保健課	深町 寿雄
保健医療部保健予防課	倉員 知子係長
健康福祉のまちづくり部地域保健課	木下 和也
高齢者・障がい者部障がい者在宅支援課	奥田 一成係長
生活衛生部食品安全推進課	杉山 祐治係長
総務部計画課（事務局）	稲永 麻子

■ 登場人物一覧 時点は H48 : 2036

	仮名	年齢	性別	職業	生きがいカフェ	その他
1	唐人町進	75 歳 (S36 : 1961 年生)	男性	日本語教室講師	・料理教室の生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・S36 : 1961 さいたま市生まれ ・小学生の頃親の転勤で福岡で3年過ごす(小3~5) (S45 : 1970~48 : 1973)。 ・S59 : 1984 に大学卒業後、会社に就職したが全国転勤のある会社。海外勤務も経験あり。 ・S63 (1988) に結婚, H2 (1990) に長女誕生, H4 (1992) に長男誕生。 ・福岡には長女が中2の時 (H16 : 2004) に赴任, そのまま長女は福岡の高校に進学。 ・長女が高校1年の時 (H18 : 2006), シンガポール赴任を命じられ単身赴任, 4年を過ごす (H18 : 2006~22 : 2010)。 ・帰国後も日本各地を転勤した。 ・H38 : 2026 65歳で退職。 ・最後の勤務地大阪で夫婦2人で暮らしていたが, H43:2031の70歳の時に妻が心筋梗塞で急死。 ・同年 (H44 : 2032), 長女が住む春日市に近い福岡市に転居。 ・福岡に戻ってきたのは H18 以来 25 年ぶり
2	よかろうもん友造市長	55 歳 (S 56 : 1981 年生まれ)	男性	福岡市長	メタボ予防のため、近所の生きがいカフェで週1回運動している。	<ul style="list-style-type: none"> ・H40 : 2028 年ふくおか恋愛都市宣言 (シニアが恋してよかろうもん)」を行う。 ・H43 : 2031 年「やさしさに包まれたまちふくおか宣言 (みんな仲良しがよかろうもん)」を行う。 ・口癖は、「よかろうもん」。 ・50歳のときに軽い脳梗塞になり、以降運動を欠かさない。今は、ホノルルマラソンに出場するくらい。
3	レイア・オウハシ	28 歳 (H20 : 2008 生まれ)	女性	学生	—	<ul style="list-style-type: none"> ・タイ出身 ・高齢社会が進む日本のシニア施策を学びにタイからやってきた留学生。 ・日本語教室の生徒 ・アジア街のタイ料理屋でバイト

■ 登場人物一覧 時点は H48 : 2036

4	茶山香保子	75 歳 (S36 : 1961 年生)	女性	無職	一時預かり所でボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・唐人町さんの初恋の人 (小学校 5 年の時の同級生) ・元介護ヘルパー ・コミュニティシェアハウスに入居
5	高取恵子	50 歳 (S61 : 1986 年生)	女性	フードコーディネーター, 管理栄養士 (フリー)	<ul style="list-style-type: none"> ・料理教室の先生 	<ul style="list-style-type: none"> ・S61 : 1986 福岡市生まれ。 ・H21 : 2009 福岡市内の栄養学科卒業後, 管理栄養士として就職。 ・H28 : 2016 にモンゴル人と国際結婚。H31 : 2019 に長男誕生。 ・H38 : 2026 に夫の浮気で離婚。 ・今は高齢者グループホームも栄養管理を行いながら, フードコーディネーターとしても活躍。
6	高取福太	17 歳 (H31 : 2019 生まれ)	男性	高 2	<ul style="list-style-type: none"> ・PC 教室に助手として通う。 ・サッカー教室参加 ・ブラインドサッカーでボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・H31 : 2019 福岡市生まれ。 ・H38 : 2026, 7 歳の時に両親が離婚。 ・H47 : 2035 市内の高校に入学するも, 環境の変化に馴染めずに引きこもりがちとなる。
7	中州翔太	40 歳 (H8 : 1996 年生まれ)	男性	ゲーム会社に勤務 週 3 回入社し, その他は自宅勤務	<ul style="list-style-type: none"> ・PC 教室助手 ・サッカー教室参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・イクメン ・生きがいカフェに通っている際は, 子ども一時預かりを利用
8	下山門てりは	33 歳 (H25 : 2013 年)	女性	福祉施設に通所	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸教室の講師 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がいがある。 ・いつもは福祉施設で陶芸作品を作成しており, 時々生きがいカフェで陶芸を教えている。 ・作品は生きがいカフェでも販売されており, 使いやすく, おすすめ商品となっている。